

6月27日現在

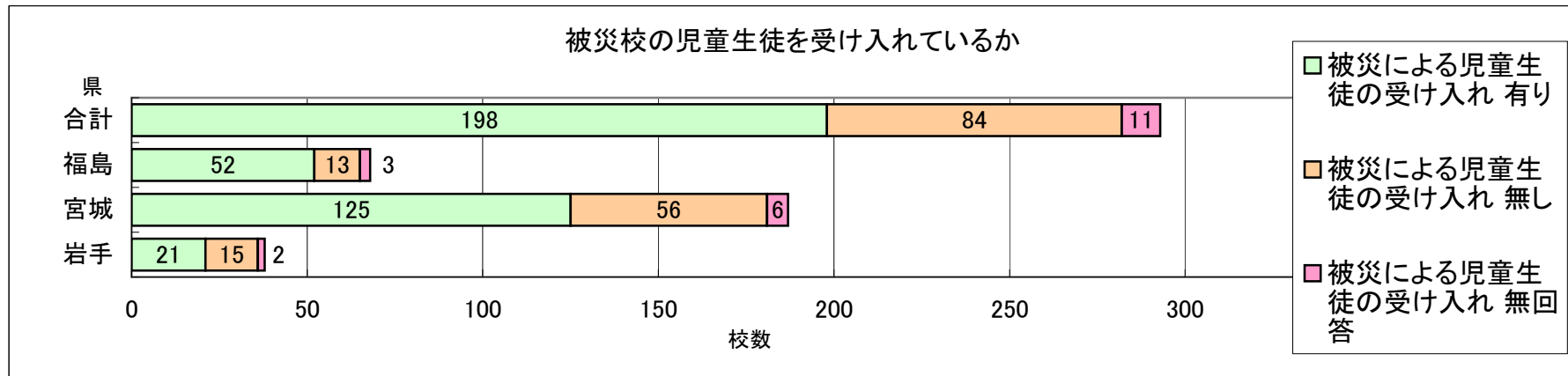
回答校数:293校 図書の寄贈を希望する学校数:116校

	回答数※	図書の寄贈を希望するか※				寄贈時期等の要望があるため後で寄贈
		希望する	すでに寄贈を受け、足りているので希望しない	希望しない	無回答	
岩手	38	25	1	10	0	2
宮城	187	53	6	125	1	2
福島	68	34	2	32	0	0
合計	293	112	9	167	1	4

回答校の校種※				
小学校	中学校	高校	特別支援学校	その他（中高一貫等）
221	54	15	2	1

回答校の内、寄贈を希望する学校の校種※				
小学校	中学校	高校	特別支援学校	その他（中高一貫等）
89	18	4	0	1

※:いずれも数値は学校数

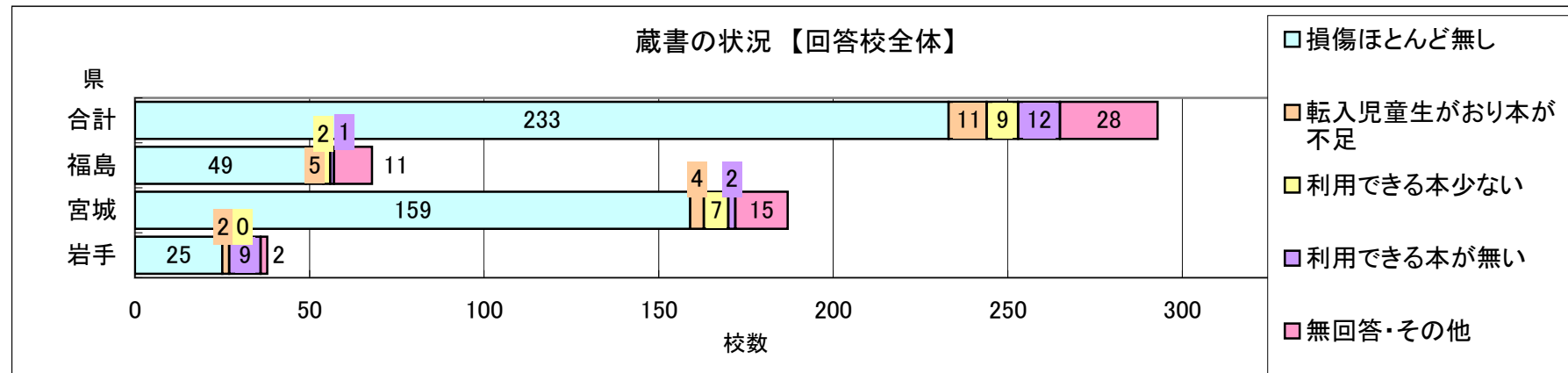
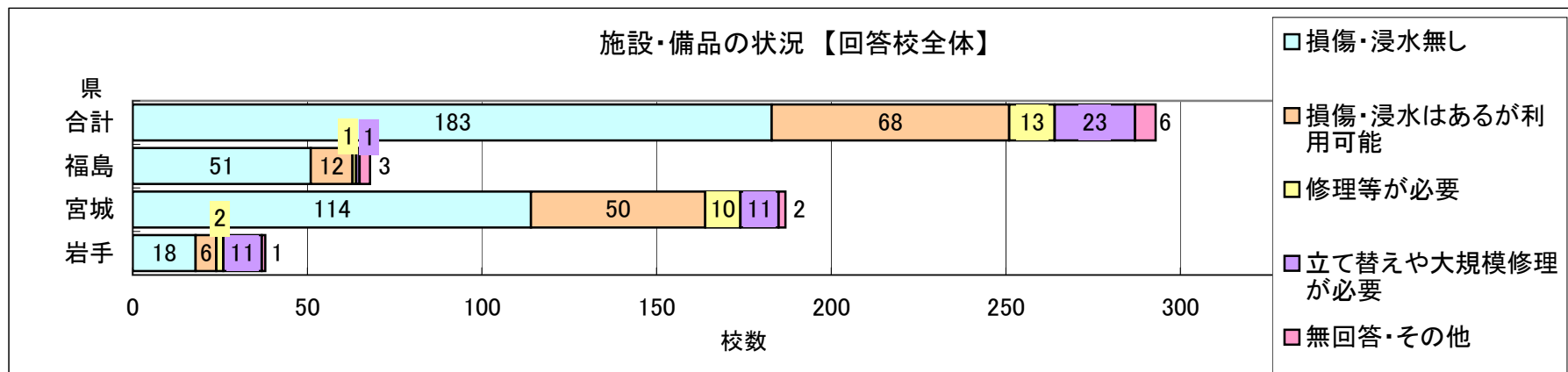


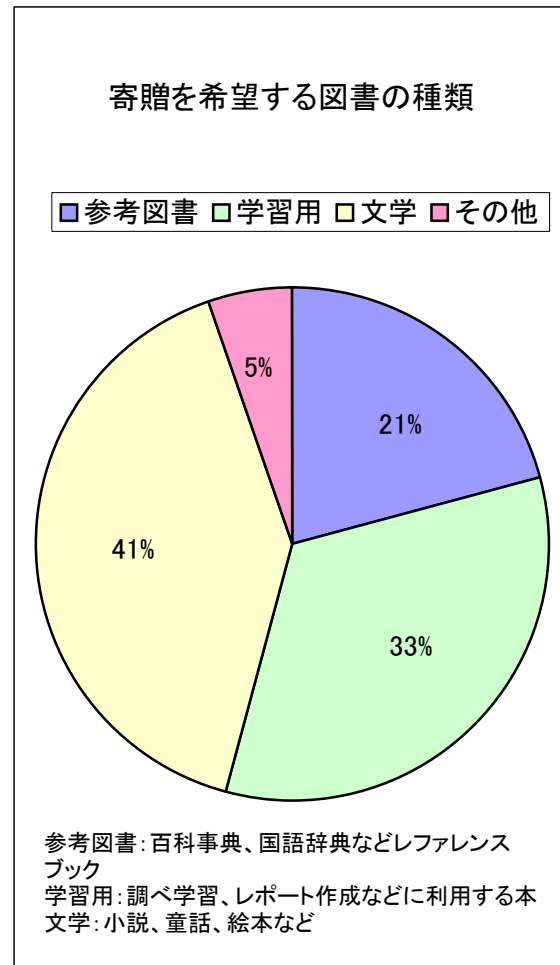
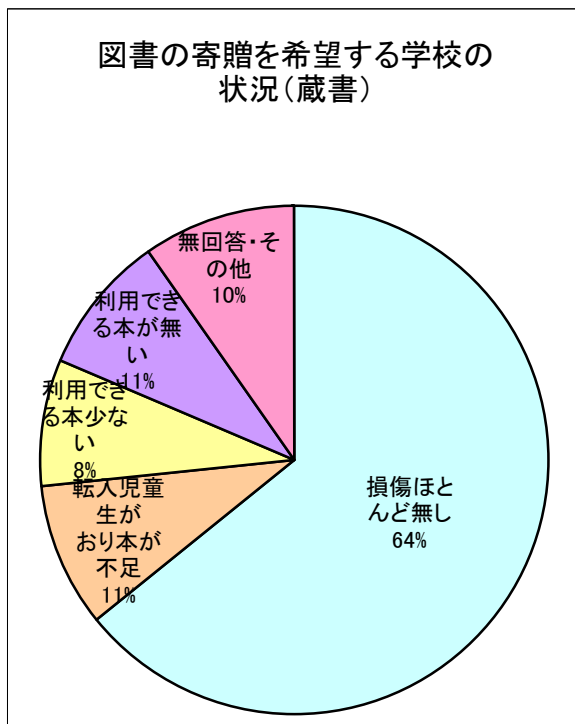
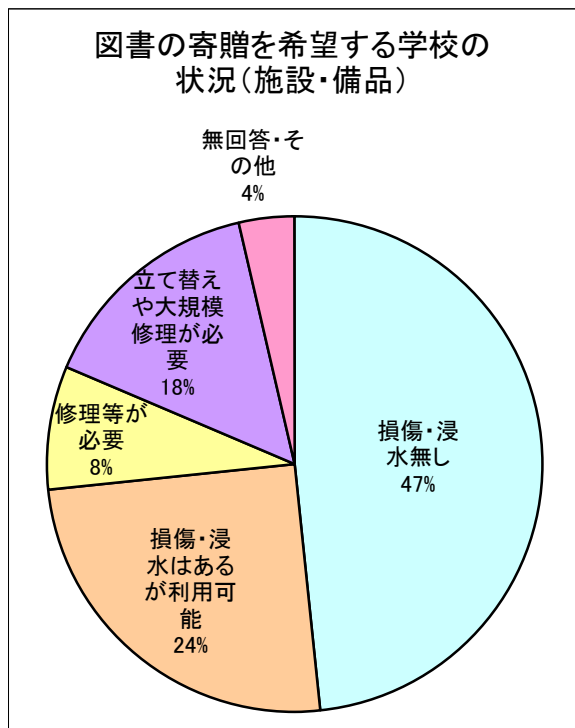
学校図書館施設・備品の状況

- 1: 損傷・浸水等はない
- 2: 損傷・浸水はあるが学習活動には利用可能
- 3: 損傷・浸水が大きく修理等が必要なために利用が困難
- 4: 損傷・流失・焼失等により、建て替えや大規模な修理が必要

学校図書館の蔵書の状況

- 1: 本の落下・浸水等があったが損傷はほぼないので利用できる
- 2: 本の損傷はほぼないが転入児童生徒が増えたため本が不足している
- 3: 本の損傷・流失・水濡れが多く利用できる本が極めて少ない
- 4: 学校図書館の損傷・流失・焼失等により利用できる本がない





寄贈を希望する学校の被災の状況例(備考欄より)

- ・図書の被害は軽度だが、それ以外(校舎1階など)の被害が大きいまたは原発事故の影響で移転中
- ・学校図書館を避難所として使用しているため図書を利用できない
- ・近隣の公共図書館が被災し、学習用の図書が借りられなくなった
- ・放射能の影響で校外活動を控えているため読書の時間を設けているが図書が足りない
- ・校区内に仮設住宅ができるので転入生が増える見込み